

## 平成 23 年度 習志野市文化財審議会会議録（要点）

日 時：平成 23 年 11 月 15 日（火）午後 2 時～午後 4 時

場 所：教育委員会 1 階大会議室

出席委員：山岸良二会長、夏目勝也副会長、清水 勲委員、泉田昭治委員

出席職員：生涯学習部長 藤田 勉、生涯学習部次長 早瀬登美雄

生涯学習部副技監 及川隆志、社会教育課長 星 昌幸

生涯学習部主幹 猪股昭喜、社会教育課文化財係長 白鳥 章

副主査 松浦史浩、主事補 金谷千亜紀

### 会議次第

1. 職員紹介
2. 部長挨拶
3. 会長挨拶
4. 報告事項

#### （1）有形文化財等

① 旧大沢家住宅及び旧鶉田家住宅の保存・活用として、入館者数及び活用事例について報告

② 東日本大震災に伴う旧鶉田家住宅の被災状況について報告

##### a) 被災状況

敷地・庭園では地盤沈下及び液状化、地割れが起き、主庭の石灯籠が倒壊損傷した。主屋では土壁に無数の亀裂が入り、場所により崩落したほか、主屋の各所で損傷・損壊等の被害がみられた。また、建築専門家の調査の結果、建物が沈下していることが明らかとなり、基礎（杭等）に何らかの不具合が生じている可能性を指摘された。

##### b) 今後の復旧計画

基礎の不具合の原因究明及び復旧工事の方針を立てるため、調査委託（ボーリング調査）等を実施予定。

③ 市指定天然記念物正福寺大イチョウについて報告

##### a) 台風 15 号による大イチョウの被害

平成 23 年 9 月 21 日、台風の影響で大イチョウの枝 2 本が折れ落下したが、職員が同日中に樹幹の無事を確認し、落下した枝を撤去した。後日、落下または折れる危険性のある枝を剪定・撤去した。

b) 樹木医による簡易診断

樹勢に問題はないが、胴吹き枝・ヒコバエの多さや樹冠の偏り、腐朽による空洞化が進行していることを指摘された。

④ 文化財等の調査・整理について報告

⑤ 文化財等の普及・活用について報告

- ・ 第7回千葉県北西部地区文化財発表会・巡回展の開催について
- ・ 歴史関係の各種講座へ職員を講師として派遣
- ・ 市内中学生生徒の「職場体験学習」の受け入れ

【質疑・意見】

○委員

旧鵜田家住宅の基礎について、地盤改良は行っているのか。

○事務局

行っている。9メートルの杭を4連結し、36メートルにしたものを、地盤に21か所入れている。

○委員

旧鵜田家住宅の裏側の崖には地震の影響がなかったのか。

○事務局

旧鵜田家住宅が立地する実籾本郷公園は地盤沈下したが、旧鵜田家住宅裏側の崖については崩落したという情報は聞いていない。

○委員

市史関連資料として、写真等は継続して収集しているのか。市内に写真の所蔵家はいるのか。

○事務局

収集している。稀にはあるが写真をご寄贈していただくこともある。また、写真を所蔵している方からお借りして、それを電子化して保管するということも行っている。

○委員

文書や写真の保存について、温度管理等はどうなっているのか。

○事務局

空調のある部屋で保管しているが、今後も注意していきたい。

○委員

資料の寄贈の受け皿として、資料館のような存在は重要であるから、引き続き検討していただきたい。

(2) 埋蔵文化財

平成 23 年 10 月末現在の建築土木工事に伴う窓口相談業務及び協議件数、発掘調査について報告

(3) その他

指定文化財・登録文化財について報告